

はや公民館だより

平成27年6月号 No. 381

発行：芳養公民館 館長：泉 京子 主事：野口 直希

住所：田辺市芳養松原一丁目15-8

TEL：22-1429 FAX：23-1909



第二回史跡めぐりへのご案内

芳養公民館では、下記内容のとおり、田辺市内の史跡めぐりを計画しました。地域の皆様のご参加をお待ち申し上げます。

【日時】 平成27年7月11日（土）

【参加費】 500円（お弁当代）

【参加資格】 芳養公民館区在住であること
小学生は保護者同伴であること
徒歩で1時間程度歩きます。

【行程】	8時～8時50分	芳養公民館出発、牛馬童子へ移動 (バス50分)
	↓	
	8時50分～9時50分	牛馬童子周辺を散策しながら 中辺路美術館へ移動（徒歩1時間）
	↓	
	9時50分～10時50分	中辺路美術館見学
	↓	
	10時50分～11時20分	本宮伏拝へ移動 (バス30分)
	↓	
	11時20分～12時20分	本宮伏拝見学、お弁当・休憩
	↓	
	12時20分～13時	本宮大社見学
	↓	
	13時～14時30分程	本宮大社出発、芳養公民館にて解散 (バス1時間30分)

【定員】 20名 ※定員になり次第受付終了させていただきます。

【申し込み】 7月3日（金）までに芳養公民館へ電話にて申し込んでください。

【その他】 当日は動きやすい服装でお願いします。
飲み物・タオル・携帯トイレなどウォーキングに必要なもの、また熱中症などの恐れがありますので、帽子等を各自持参して頂くようお願い致します。
参加者の保険については、田辺市ふれあい保険が適用されます。
当日・前日に体調の悪い方は、公民館へご連絡下さい。

芳養ふれあい教室の様子をご紹介します

5月8日（金）から、芳養小学校で平成27年度の芳養ふれあい教室が始まりました。

5月13日（水）に行われた中国語教室では、子ども達が元気よく、目を輝かせながら勉強に取り組んでおり、その他の教室も、講師先生に優しく教えていただきながら、楽しそうに学んでいました。



第7回 読み聞かせ教室 ～紀州の昔ばなし～

下記内容のとおり、読み聞かせ教室を行います。

子どもから大人の方まで楽しめる内容ですので、皆様お誘い合わせの上、ぜひご参加ください。

【日程】 平成27年7月25日（土）

13時30分から

【内容】 方言を使った昔ばなし

児玉 晴代さん

アコーディオン演奏

坂本 義次さん



芳養しおさいまつり ～漁港へGO!GO!～

4月25日（土）、芳養漁港で『第13回芳養しおさいまつり』が開催されました。

当日は天候にも恵まれ、豊富な海産物、農産物、食料品、衣料品などを取り揃えた軽トラックと、多くの来場者で賑わっていました。

また、軽トラック市以外にも「芳養湾クルーズ」や「キャスティングゲーム」の他、明洋中学校生徒によるブラスバンド、南紀子どもサポートステーションによるよさこい等様々なイベントも実施され、終始大盛況なしおさいまつりとなりました。

ご来場の皆様、また、ご出店いただいた地域の方々のおかげでした。ご協力ありがとうございました。



6月の古紙回収日【毎月第1・3火曜日】

6月2日（火）、16日（火）

◎午前中に、芳養公民館前に出して下さい。

◎雑誌、新聞、ダンボールの3種類に分け、

必ず紙ヒモでくくって出して下さい。

※前日、また、回収日以外には回収できませんので出さないで下さい。



芳 養 小 学 校

芳養ふれあい教室スタートする

平成27年度の芳養ふれあい教室がいよいよ5月8日（金）から、囲碁教室でスタートを切りました。

今年の前期ふれあい教室は、英語教室（2教室）と中国語教室をはじめ、茶道教室（2教室）、生け花教室、かきかた教室、囲碁教室、フェルト教室、キンボール教室（2教室）、読み聞かせ教室の12教室を実施します。現在の申し込み参加児童数は、延べ人数222人で、子ども達はいつも楽しみに教室に参加しています。

時間があれば、保護者の皆さんや地域の皆さんも指導や見学、また活動に参加していただければ嬉しく思います。

山本とし子実行委員長さんのご挨拶を載せさせていただきます。

地域のみなさまへ

好きなことをする幸せ、好きなことに打ち込めるふれあい教室。

子どもたちが好きなことを自由に選択し、同じ教室で縦と横の絆を深め広げる。

目標は様々でも、子どもたちが同じ時間を過ごし、いっしょになって学ぶ。

私自身、この8年間で一杯一杯の思い出をもらいました。9年目の今年も222名の子どもたちが参加を希望し、一杯一杯の素晴らしい思い出を作ってくれることでしょう。

小学校時代の過ごし方は、この先ずっと、その子の生き方に影響すると思っています。

その分、私たち指導者はやりがいもあり、同時に責任も感じています。

講師先生やサポーターの皆さんが、少し早く学校に足を運び、ふれあい教室で子どもたちを迎え、わいわいと楽しく同じ時を過ごす。少しの時間であっても、これが私にとって、最高の喜びであり、至福の時間となっています。

また、色々な立場で真剣に取り組んでくれている指導者の方々との出会いも、私自身の元気の源になっているように思います。

今後ともふれあい教室を通して、笑顔があふれ、みんなで子育てができる地域を作って行ければと願っています。

どうか、地域のみなさま方、是非ふれあい教室のとびらを開けて、元気な子供たちの手伝いをしてあげてください。心からお待ちしています。今後とも、背中を押して頂けますようお願い致します、ご挨拶とさせていただきます。

思い出に残る修学旅行

5月10日（日）、11日（月）の二日間、本校6年生の46名の児童が奈良・京都・大阪に元気よく修学旅行に行ってまいりました。

修学旅行を成功させるために、事前学習として、見学地である奈良・京都・大阪の調べ学習を行い、そして修学旅行で実際に自分の足で歩き、目で見てきました。外国からの観光客で混雑した見学場所もありましたが、天気にも恵まれ、体調をこわす者もなく、本当に充実した有意義な2日間でありました。

この修学旅行の目的である

- ①文化遺産を見学することによりその当時の人々の生き方や願いを学習する。
- ②友達との心のつながりをより一層深め、友達の大切さを学ぶ。
- ③集団規律や公衆道徳の大切さを学ぶ。の3つを十分達成したと思います。

この修学旅行で学んだことを、これからの小学校生活に生かしていこうと誓い合いました。旅行中、早田水産様のご好意により、和歌山放送ラジオを通じまして、旅行団の安否を放送していただきました。心より御礼申し上げます。ありがとうございました。

大 坊 小 学 校

平成27年度 大坊小学校の教育方針

～「たくましさの育成」について～

本年度がスタートして、2ヶ月が過ぎようとしています。複式の学校は、修学旅行を隔年実施としていて本年度が実施年、5月21・22日に行ってきました。修学旅行の様子については、来月お伝えしたいと思います。

今月は、本年度の教育目標とそれにそって実施されている教育実践「たくましさの育成」について活動のこまを紹介します。

1.教育目標

ふるさとに、清く、高く、のびのびと

～子どもの姿に成長が見える学校をめざして～

2.取り組み目標

- (1)基礎的な能力を身に付け、自ら学ぼうとする子どもを育てる。
- (2)事実をとらえ、深く広く考えをすすめていく子どもをそだてる。
- (3)互いを認め、共感し、自己肯定感を持つ子どもを育てる。
- (4)地域の一員としての自覚をもち、みんなのために働ける子どもを育てる。
- (5)体をしっかり鍛え、あきらめないで取り組む子どもを育てる。
- (6)自らの健康、安全について自己管理できる子どもを育てる。
- (7)学社融合を推進し、郷土を愛する心を育てる。

・・・たくましさの育成のために・・・

業間体育の実施

2時間目と3時間目の間、休憩時間に入る前の10分間を体力作りの時間と設定し、各種の運動に取り組んでいます。1学期は、短距離走のあと一輪車の練習です。運動会で一輪車演技をするため、1年生は自力走行が第一目標です。上達に従って、アイドリングや8の字走行、50mスプリント等、進級していけるように15級から1級まで一覧表にして示し、合格をめざして頑張っています。入学して初めて一輪車に乗り始めた児童が、運動会にはどうにか一人で進めるようになっているのは、ねばり強い練習の成果だと思えます。6年生は写真のような背の高い一輪車に乗ります。初めは怖さとの戦いですが、6年生になったら乗るものとして、引き継がれていることです。

児童の自主活動を大切に

創意工夫し、チャレンジ精神を培うために、教師は「待ち」の姿勢を心がけています。朝のあいさつ運動や各種児童会企画の集会等、工夫が見えるよう指導も入れながら、失敗をおそれずチャレンジすることを評価したいと考えています。5月には高学年を中心に縦割り班で誕生日集会を企画し、達成感を味わうことができたように思います。



明 洋 中 学 校

平成27年度 明洋中学校の教育方針

田辺市立 明洋中学校

本年度が始まり、早くも2ヶ月が過ぎました。342名の生徒たちは新しい学年、学級にすっかり馴染み、学習や部活動に励んでいます。

4月下旬には春季大会が開催され、どの運動部もよく健闘しました。また、バスバンド部も地域行事に参加するなど、様々な教育活動を展開しています。

平成27年度の本校教育目標や取組について、以下に掲げ、現在、具現化に向けて進めています。

1. 教育目標

人間尊重の精神を基盤に、『自主、自律、連帯』を校訓として、確かな学力をもち、人間性豊かで、心身ともに健康な生徒を育成する。

2. 教育の重点目標

- (1)自ら求めて学ぶ力を身につけ、学力を向上させる。家庭学習の充実を図る。
- (2)確かな人権認識を身につけ、仲間と協力する力や、他を思いやる「和合の心」を育てる。
- (3)自己の心身の健康に気を付け、さらにそれを増進する力を育てる。
- (4)価値ある生き方を考え、社会生活で自立できる力を育てる。
- (5)学社融合の視点を大切にし、保護者、地域のひととともに生徒を育て、地域づくりに貢献する。

3. 本年度の具体的実践

- (1)授業研究を重ね、授業を「楽しく、分かりやすく、できる」ものに改善し、学力向上を図る。
- (2)正規の職員数に加え、配当いただいた加配や非常勤講師を活用し、本来、全学年3学級編制のところ4学級編制（少人数学級編制）にする。また、学力や生活指導上、配慮を要する生徒を支援する。生徒、保護者の支援のため、スクールカウンセラーの教育相談を実施する。
- (3)授業規律を確立し、落ち着いた中で学習意欲を高め、補習も含め個々の学力を高めるようにする。
- (4)朝の斉読書や家庭での読書習慣をつける。
- (5)いじめや生徒指導に関わる問題は、未然防止の取組を基本とし、アンケートの定例化により早期発見、早期解決に努め、望ましい生徒集団を育成する。「田辺市いじめの防止等に関する条例」を押さえ、市や本校の「いじめ防止基本方針」を浸透させていく。
- (6)不登校生や不登校ぎみの生徒には、担任を中心に職員が積極的に関わるとともに、支援室での指導やスクールカウンセラー、市教育研究所、県教育相談、関係機関との連携を図る。
- (7)部活動を通して、生徒が仲間意識を高め、集団の中で心身を鍛えられるようにする。
- (8)防災教育を充実させ、素早い避難行動が取れるようにし、地域の防災リーダーを育てる。
- (9)元気な挨拶ができ、人の話が聞け、身の回りの環境をきれいに保てる生徒を育てる。
- (10)「人を大切にする教育」をもとに、道徳教育、特別支援教育、命の教育等の充実を図る。
- (11)国体に向け花植え活動、地域のボランティア活動に積極的に参加する。生徒に地域の良さや歴史、郷土の偉人を語れる活動を進める。
- (12)「凡事徹底」「率先垂範」「和合の心」を心がける生徒を育てる。

地域の皆さま方から、見つめられ愛される学校をめざして、生徒、職員一同協力して活動を展開していきたいと考えています。地域の皆さま方には、本校の教育活動にご理解いただき、ご支援ご協力をお願いいたします。